

すこやかな毎日、
ゆたかな人生



26年12月期 上期 決算説明会

江崎グリコ株式会社

証券コード 2206

2026.08.05 掲載

2026.08.06 説明会開催

I. 26年12月期 上期業績報告	P. 3~14
II. 26年12月期 通期業績見込み	P.15~21
III. 中期経営計画の進捗について	P.22~27
※ 補足資料	P.28~32

I . 26年12月期 上期業績報告

I. 26年12月期の上期業績報告

- 売上高 : 海外事業における中国の成長等により売上増、対前年 + 9.7%の増収
- 営業利益 : 海外事業の増収等により利益増、対前年 + 42.8%の増益

II. 26年12月期の通期業績見込み

- 売上高 : 3,900億円 (対前年 + 7.9%、期初計画比 + 2.6%)
- 営業利益 : 120億円 (対前年 + 37.4%、期初計画比▲14.3%)

III. 中期経営計画の進捗

- 海外事業の伸長により、売上高・営業利益の年成長率目標は超過
- 中計目標ROE6-8%の達成を前提に、中国をはじめとする海外事業の売上・利益成長の継続と、乳業事業の早期収益改善に取り組む

連結業績の概況



- 売上高 : 海外事業によける中国の成長等により売上増、対前年+9.7%の増収
- 営業利益 : 海外事業の増収等により利益増、対前年+42.8%の増益

(単位：億円)

	25年12月期	26年12月期	
	上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	1,644	1,803	+9.7%
営業利益	32	46	+42.8%
経常利益	55	72	+31.1%
当期純利益	37	49	+32.8%

営業利益率	2.0%	2.6%	—
-------	------	------	---

営業利益の状況



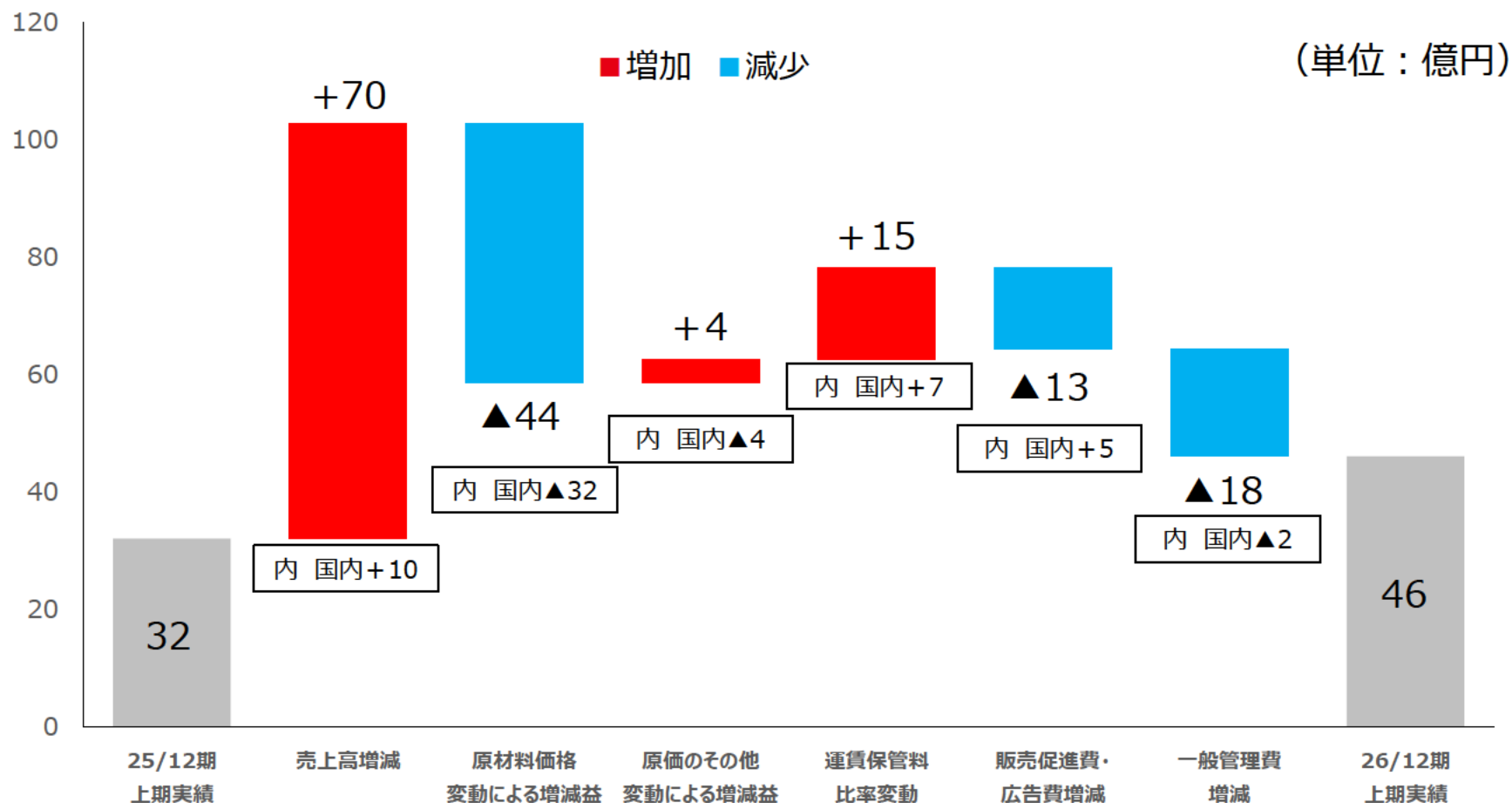
(単位：億円)

	25年12月期		26年12月期	
	上期実績	売上比	上期実績	売上比
売上高	1,644	100.0%	1,803	100.0%
売上原価	1,019	62.0%	1,134	62.9%
売上総利益	624	38.0%	669	37.1%
運賃保管料	144	8.8%	142	7.9%
販売促進費	58	3.6%	74	4.1%
広告費	73	4.5%	71	4.0%
人件費・厚生費	175	10.7%	186	10.3%
経費・償却費	140	8.5%	148	8.2%
販売費及び一般管理費計	592	36.0%	622	34.5%
営業利益	32	2.0%	46	2.6%

営業利益の増減要因



- 国内 : カカオを中心とした「原材料コスト」の増加、アイスの販売減等による品種構成のマイナス影響等により、対前年▲16億円の赤字幅拡大
- 海外 : 主に中国をはじめとする売上増等により、対前年+30億円の増益



セグメント別売上高の状況



- 国内 : 発酵乳で新製品を発売した乳業事業等で増収、対前年 + 2.2%
- 海外 : 主に中国等で増収、対前年 + 32.3%

(単位：億円)

	25年12月期	26年12月期	
	上期実績	上期実績	前年同期比
合計	1,644	1,803	+ 9.7%
(国内)	1,236	1,263	+ 2.2%
健康・食品事業	207	211	+ 2.1%
乳業事業	306	321	+ 4.9%
栄養菓子事業	298	299	+ 0.2%
食品原料事業	63	62	▲ 1.6%
国内その他事業	359	367	+ 2.1%
海外事業	408	540	+ 32.3%

<参考> 換算レート

中国 (CNY)
タイ (THB)
米国 (USD)

25年12月期 上期実績

1CNY = 20.53円
1THB = 4.45円
1USD = 149.01円

26年12月期 上期実績

1CNY = 23.02円
1THB = 4.92円
1USD = 158.3円

セグメント別営業利益の状況



- 国内 : アイスの不振、原材料コストの増加等により、対前年▲16億円の悪化
- 海外 : 中国での売上増や米国での関税還付等により、対前年+66.1%の増益

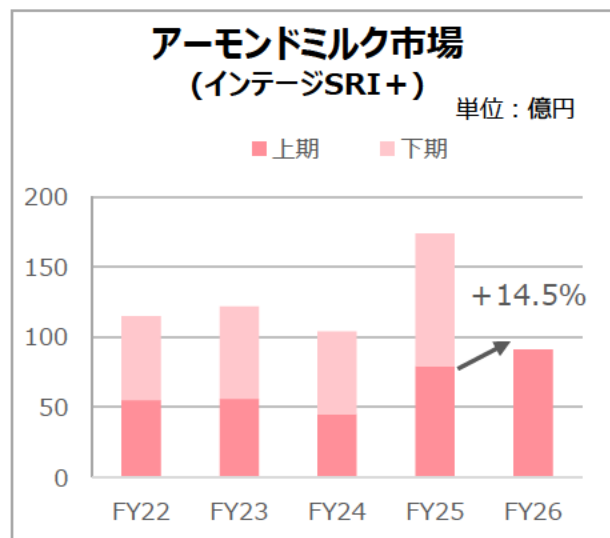
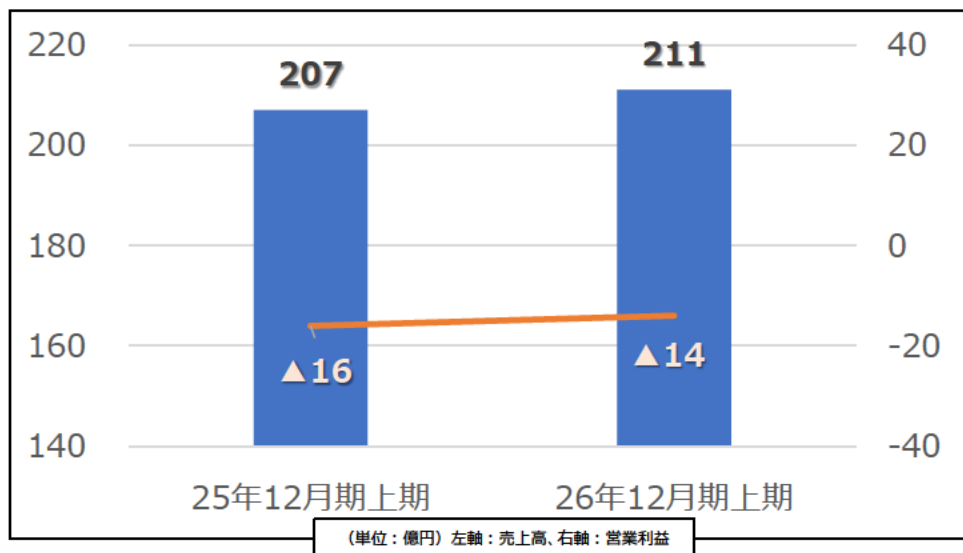
(単位: 億円)

	25年12月期	26年12月期	
	上期実績	上期実績	前年同期比
合計	32	46	+42.8%
(国内)	▲13	▲29	—
健康・食品事業	▲16	▲14	—
乳業事業	▲37	▲41	—
栄養菓子事業	19	9	▲51.2%
食品原料事業	9	12	+23.6%
国内その他事業	2	1	▲43.6%
調整	8	3	▲60.6%
海外事業	45	75	+66.1%

セグメント別：健康・食品事業



- 健康・食品事業に含まれる主なブランド：
→アーモンド効果、SUNAO、パピコ、アイスの実、DONBURI亭
- セグメント売上高：増収、対前年+2.1%の211億円
- セグメント利益：改善、対前年+2億円の▲14億円
→アイスの売上減や原材料コスト増加が続く一方、
アーモンド効果の売上・利益増で赤字幅が縮小
- 商品別：アーモンド効果が増収、パピコ、アイスの実等が減収



セグメント別：乳業事業



■ この事業に含まれる主なブランド：

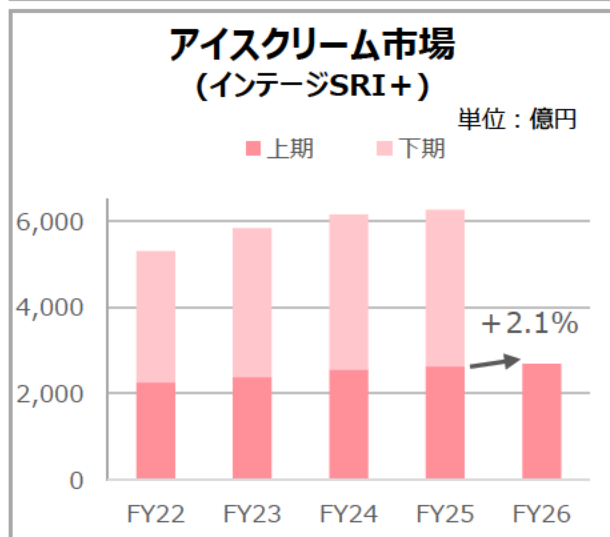
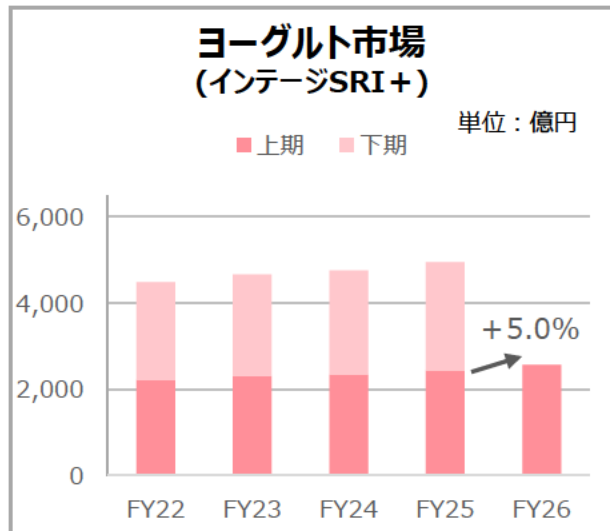
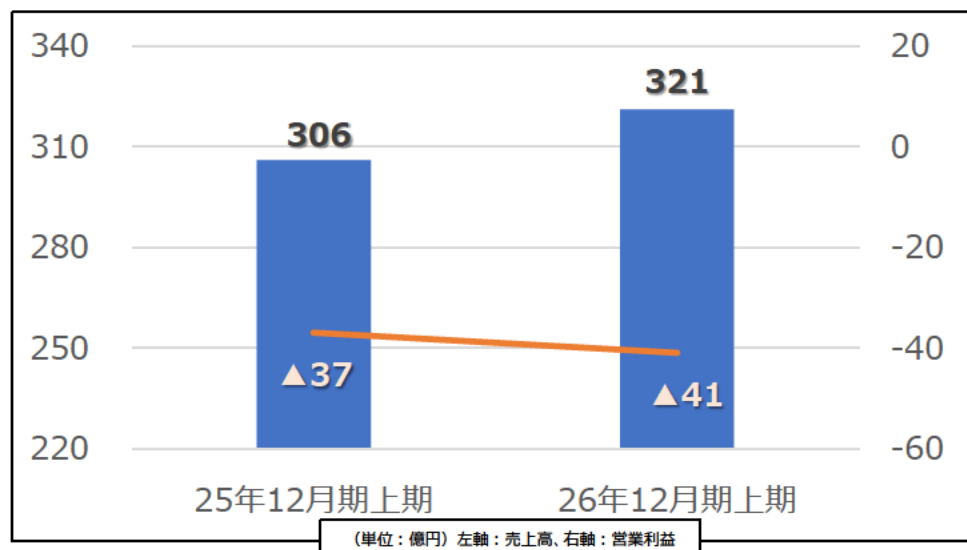
→BifiXヨーグルト、ジャイアントコーン、セブンティーンアイス、カフェオーレ、プッチンプリン

■ セグメント売上高：増収、対前年+4.9%の321億円

■ セグメント利益：悪化、対前年▲4億円の▲41億円

→新製品「BifiXヨーグルトα」効果で発酵乳が増加の一方、原材料コスト増加が響く

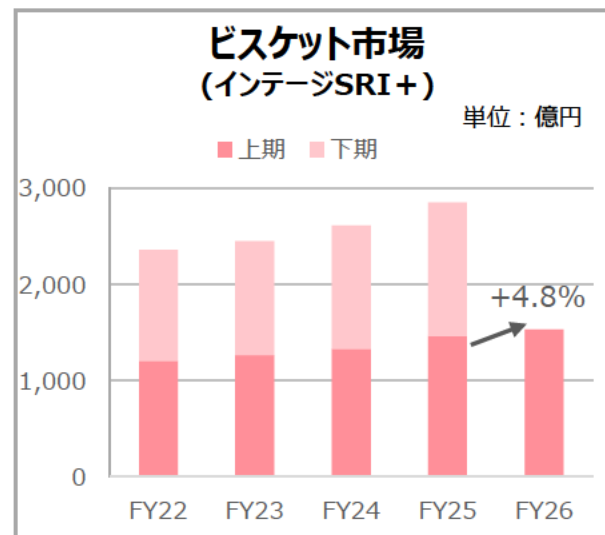
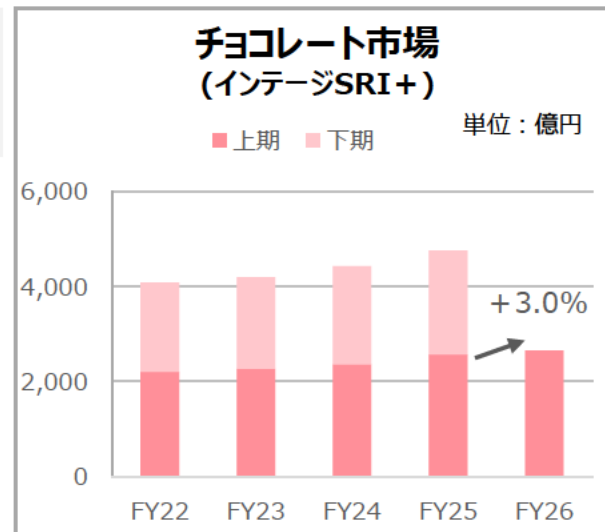
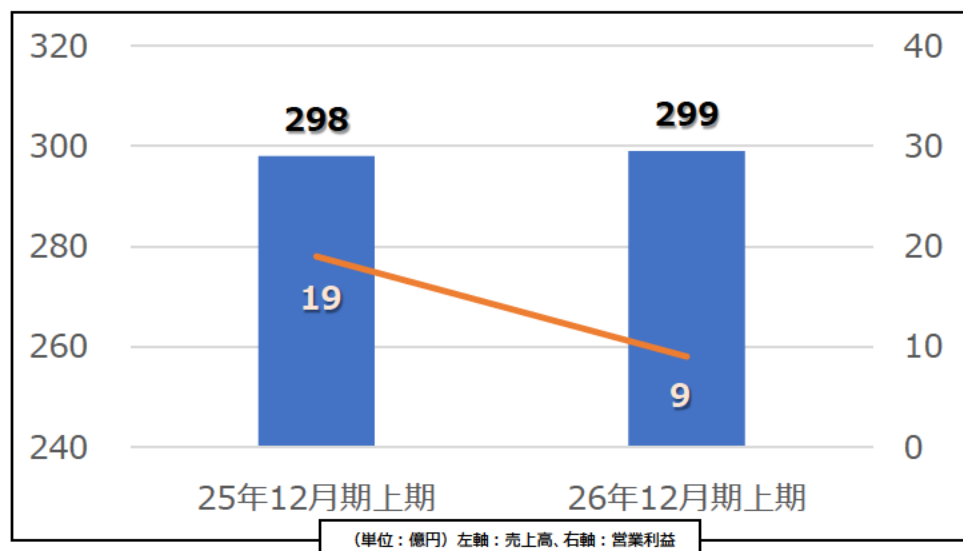
■ 商品別：BifiXヨーグルト、セブンティーンアイス等は増収



セグメント別：栄養菓子事業



- この事業に含まれる主なブランド：
→ポッキー、ビスコ、プリッツ、カプリコ
- セグメント売上高：増収、対前年+0.2%の299億円
- セグメント利益：減益、対前年▲10億円の9億円
→価格改定後の数量減、原材料コストの増加等が響く
- 商品別：ポッキー、プリッツ等が増収



セグメント別：海外事業



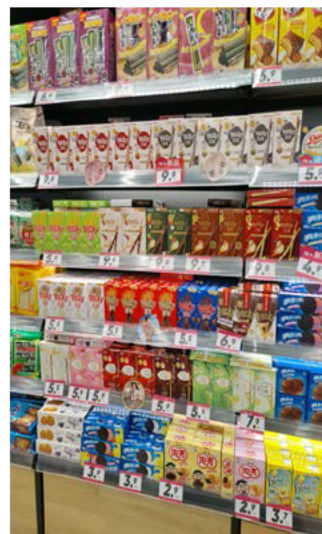
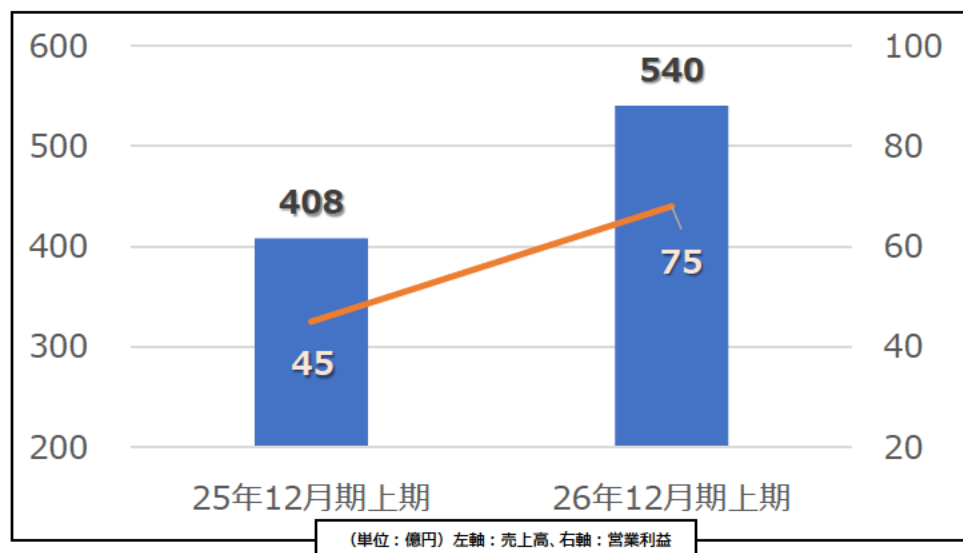
- セグメント売上高：増収、対前年+32.3%の540億円
- セグメント利益：増益、対前年+30億円の75億円

主要3地域の状況（現地通貨ベース）

【中国】 売上高：対前年+39.1%の増収、営業利益：対前年+82.0%の増益
→上海以外の1・2級都市および菓子専門店への配荷拡大等により、売上が伸長

【ASEAN】 売上高：対前年▲4.7%の減収、営業利益：対前年▲1百万US\$の損失拡大
→タイ：市況悪化で苦戦、インドネシア：主力のポッキー、上期に実施した販促キャンペーン等で改善

【米国】 売上高：対前年+1.1%の増収、営業利益：対前年+9.4%の増益
→主力のポッキー、新製品効果で増収、関税率の低下等で増益



大手菓子専門店の店頭（中国）

セグメント別：海外事業



◆中国

(単位：百万元)

	25年12月期	26年12月期	
	上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	1,034	1,439	+39.1%
営業利益	165	300	+82.0%

◆ASEAN*

(単位：百万米ドル)

	25年12月期	26年12月期	
	上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	64	61	▲4.7%
営業利益	▲1	▲2	—

◆米国**

(単位：百万米ドル)

	25年12月期	26年12月期	
	上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	46	46	+1.1%
営業利益	9	10	+9.4%

Ⅱ. 26年12月期 通期業績見込み

期初計画と通期見込み



- 売上高 : 3,900億円、対前年+7.9%の増収
- 営業利益 : 120億円、対前年+37.4%の増益

(単位：億円)

	25年12月期	26年12月期			
	通期実績	期初計画	通期見込み	前年比	計画比
売上高	3,613	3,800	3,900	+7.9%	+2.6%
営業利益	87	140	120	+37.4%	▲14.3%
経常利益	116	170	140	+20.2%	▲17.6%
当期純利益	50	100	90	+78.7%	▲10.0%

営業利益率	2.4%	3.7%	3.1%	—	—
-------	------	------	------	---	---

営業利益の見込み



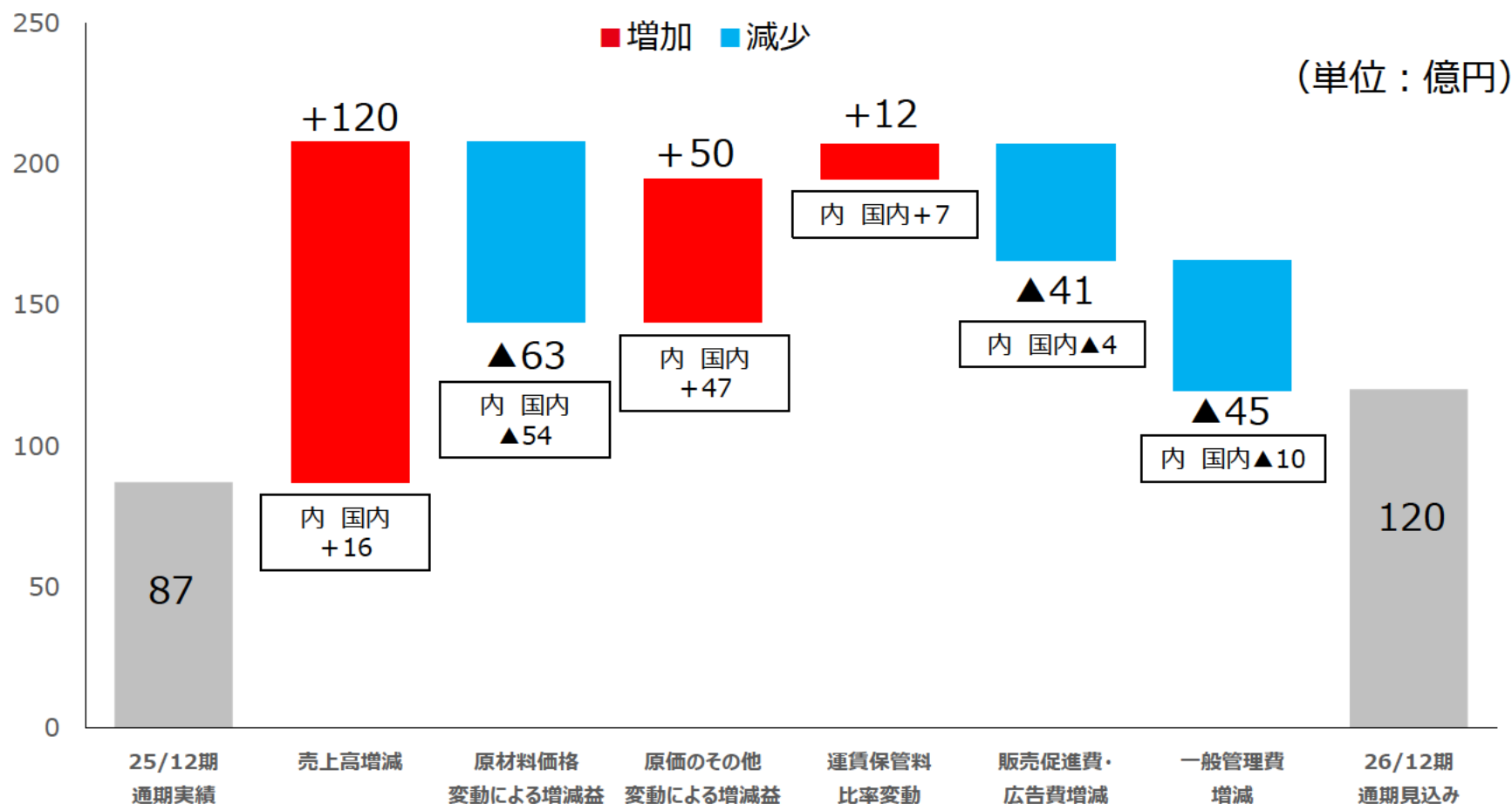
(単位：億円)

	25年12月期		26年12月期		
	通期実績	売上比	期初計画	通期見込み	売上比
売上高	3,613	100.0%	3,800	3,900	100.0%
売上原価	2,262	62.6%	2,333	2,417	62.0%
売上総利益	1,351	37.4%	1,467	1,482	38.0%
運賃保管料	296	8.2%	294	307	7.9%
販売促進費	143	4.0%	142	149	3.8%
広告費	160	4.4%	185	196	5.0%
人件費・厚生費	362	10.0%	371	381	9.8%
経費・償却費	300	8.3%	335	327	8.4%
販売費及び一般管理費計	1,263	35.0%	1,327	1,362	34.9%
営業利益	87	2.4%	140	120	3.1%

営業利益の増減要因



- 国内 : 原材料コスト等が増加するものの、価格改定による「原価その他変動」等の増加により、前年並みの利益
- 海外 : 中国をはじめとする各地域での売上増等により、対前年+32億円の増益



セグメント別売上高の見込み



- 国内 : アイス等で下期に売上増を図るものの、各事業の上期実績を踏まえて下方修正、対計画▲40億円の2,750億円の見込み
- 海外 : 中国での売上伸長を踏まえて上方修正、対計画+140億円の1,150億円の見込み

(単位：億円)

	25年12月期	26年12月期			
	通期実績	期初計画	通期見込み	前年比	計画比
合計	3,613	3,800	3,900	+7.9%	+2.6%
(国内)	2,706	2,790	2,750	+1.6%	▲1.4%
健康・食品事業	478	513	490	+2.4%	▲4.5%
乳業事業	664	693	680	+2.3%	▲1.9%
栄養菓子事業	659	678	670	+1.6%	▲1.2%
食品原料事業	131	133	135	+2.5%	+1.5%
国内その他事業	772	773	775	+0.4%	+0.3%
海外事業	907	1,010	1,150	+26.8%	+13.9%

<参考> 換算レート

25年12月期 通期実績

26年12月期 期初計画

26年12月期 通期見込み

中国 (CNY)

1CNY = 20.93円

1CNY = 22.36円

1CNY = 23.41円

タイ (THB)

1THB = 4.57円

1THB = 4.97円

1THB = 4.9円

米国 (USD)

1USD = 150.43円

1USD = 156.56円

1USD = 160.19円

セグメント別営業利益の見込み



- 国内 : 「健康・食品事業」と「乳業事業」の利益改善遅れ等により、
対計画▲44億円、対前年並みの5億円の見込み
- 海外 : 中国での売上伸長等により、対計画+24億円、対前年+32億円の115億円の見込み
(単位: 億円)

	25年12月期	26年12月期			
	通期実績	期初計画	通期見込み	前年比 増減額	計画比 増減額
合計	87	140	120	+32	▲20
(国内)	5	49	5	+0	▲44
健康・食品事業	▲15	10	0	+15	▲10
乳業事業	▲71	▲40	▲55	+16	▲15
栄養菓子事業	43	45	45	+1	—
食品原料事業	22	23	23	+0	—
国内その他事業	6	11	11	+4	—
調整	18	—	▲19	▲37	▲19
海外事業	82	91	115	+32	+24

海外事業-地域別の売上高、営業利益の見込み

◆中国

(単位：百万元)

	25年12月期	26年12月期			
	通期実績	期初計画	通期見込み	前年比	計画比
売上高	2,274	2,504	2,883	+26.8%	+15.1%
営業利益	300	327	405	+35.1%	+23.8%

◆ASEAN*

(単位：百万米ドル)

	25年12月期	26年12月期			
	通期実績	期初計画	通期見込み	前年比	計画比
売上高	132	149	143	+8.5%	▲4.2%
営業利益	0	2	0	+29.0%	▲89.5%

◆米国**

(単位：百万米ドル)

	25年12月期	26年12月期			
	通期実績	期初計画	通期見込み	前年比	計画比
売上高	95	95	95	+0.0%	—
営業利益	15	15	15	+1.0%	—

Ⅲ. 中期経営計画の進捗について

中期経営計画【FY25-27】の数値目標



価値創造による利益創出を加速、ROE6～8%の達成を目指す

ROE	FY25-27 : 6～8%、FY28-30 : さらなる向上目指す
売上高・営業利益 (年成長率、前年比)	売上高+5～10%、営業利益+10～15% ✓ 価値創造・向上案件の増加による売上成長・利益向上 ✓ ROE目標水準を6～8%に設定。事業別ROICの導入による収益管理の徹底
資本政策	成長投資を加速しつつ、資本効率化と株主還元を強化 ✓ ROE目標の達成を前提に、成長投資枠の活用と株主還元を機動的に実施

(単位：億円)

	FY23	FY24	FY25	FY26	FY25-27 : 加速フェーズ
	実績	実績	実績	通期見込み	経営目標
売上高	3,325	3,311	3,613	3,900	+5～10%/年
前年比	+9.4%	▲0.4%	+9.1%	+7.9%	
営業利益	186	110	87	120	+10～15%/年
前年比	+45.0%	▲40.6%	▲21.0%	+37.4%	
配当性向	36.0%	70.6%	120.1%	66.2%	45%以上
ROE	5.6%	3.0%	1.8%	4%	FY27 : 6～8% (FY30 : さらなる向上目指す)

主要事業の戦略（国内）進捗と対策



事業戦略 (国内)—— KPI

- 価値創造の加速、デジタル・AIを活用した顧客起点のビジネスモデルの進化
- 素材を起点とした事業バリューチェーンの再構築（乳・カカオ・アーモンド）
- 売上高：+5～8%/年
- 価値創造商品の上市数、新規顧客獲得数、喫食頻度

重点領域の戦略

進捗と対策

● 健康・食品事業

健康価値を伴った商品の価値創造と価値伝達の加速化

今期計画：

アーモンドミルクの事業拡大、アイス新製品発売による売上・利益の改善

⇒アーモンド効果：未顧客の獲得による間口の拡大

⇒アイス：パピコのリニューアル実施、夏場の売上向上を図る

● 乳業事業

利益水準の早期改善、発酵乳ターゲット顧客への価値伝達の強化

今期計画：ターゲット顧客への価値伝達の強化、価値創造・価値向上の新商品発売の加速による、事業収益性の早期改善を進める

⇒別項でご説明

● 栄養菓子事業

喫食頻度の向上による数量増

今期計画：

「おいしさと健康」の両軸で商品の価値を高め、日常的に喫食いただける顧客の数を増やす

⇒ポッキー・ビスコ：昨年リニューアルした新製品の価値伝達を強化

主要事業の戦略（海外）進捗と対策



事業戦略 (海外)

KPI

- 既存進出国でのブランド成長の加速（ポッキー・ビスコ・アーモンド効果）
- 中国／ASEANの売上成長・利益向上の加速
- 次なる成長基盤としての北米での事業基盤の構築

■ 売上高：+10%以上／年

重点領域の戦略

進捗と対策

● 中国

1・2級都市での顧客接点の拡大

今期計画：

- ① 上海以外の1・2級都市、菓子専門店への配荷拡大による事業伸長
- ② 中国市場での「ウェルビーイング貢献」に向けた健康価値の提供
⇒別項でご説明

● ASEAN

各国での顧客接点の強化・拡大

今期計画：

- ① ポッキーのプレミアム化と市場浸透の強化
- ② ASEAN市場での「ウェルビーイング貢献」に向けた健康価値の提供
⇒ポッキーのリニューアル等により、売上・利益成長を図る

● 米国

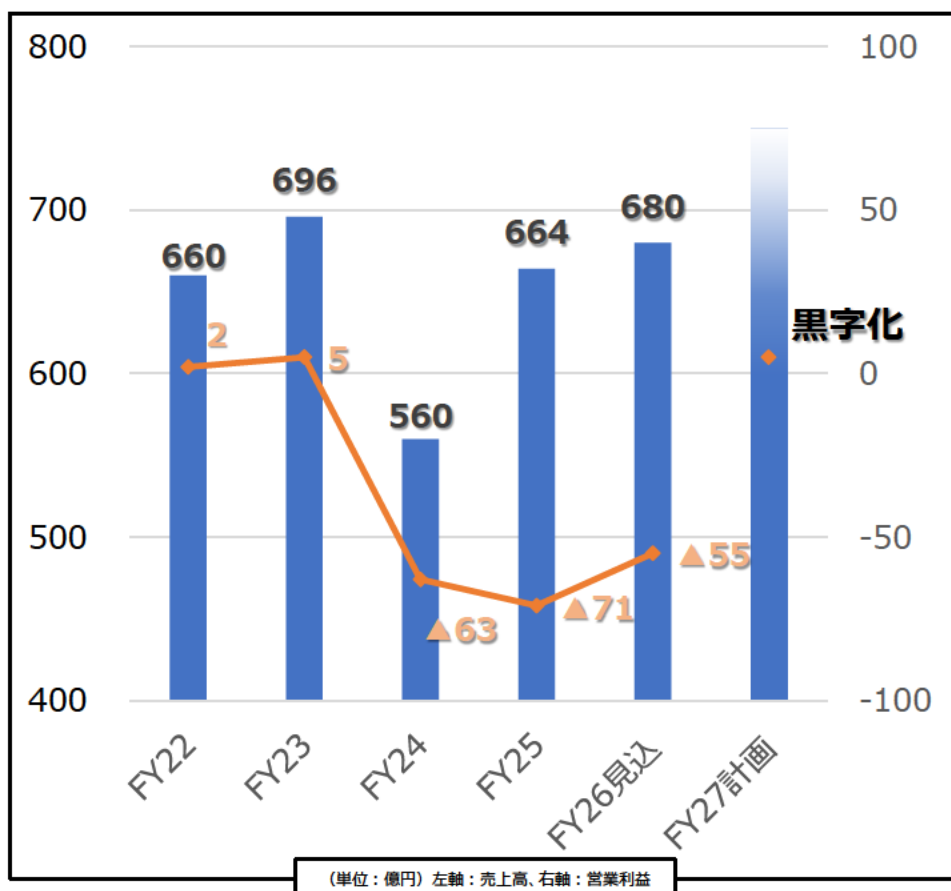
事業基盤の構築、消費者の需要・マーケットに対応した商品の提供

今期計画：

- ① ポッキーの新製品投入、主要リテラー特性に応じた販促施策の実施
- ② コストコントロールによる利益水準の確保
⇒関税率低下により利益増。新製品の配荷増で売上伸長図る

乳業事業の収益改善に向けた事業構造改革について

- 喫食頻度を増やす成長戦略と収益最適化の両軸で、事業構造改革を実行
- FY27（中計最終年度）の収益黒字化、FY30（次期中計）での事業適正化を目指す



成長戦略

- ① 喫食頻度の増加
⇒ 発酵乳・乳飲料・アイス・粉ミルク等の既存ブランドを対象に、売上成長機会を特定し売上拡大に資する施策を遂行する
- ② 新規領域進出による成長
- ③ 生乳起点のVC構築

収益最適化

- ④ SKU最適化（選択と集中の実行）
⇒ 赤字SKUの廃止、高収益SKUへの集中によって、商品ポートフォリオおよびマーケティング投資を最適化する
- ⑤ オペレーションコストの最適化

戦略実行の時間軸

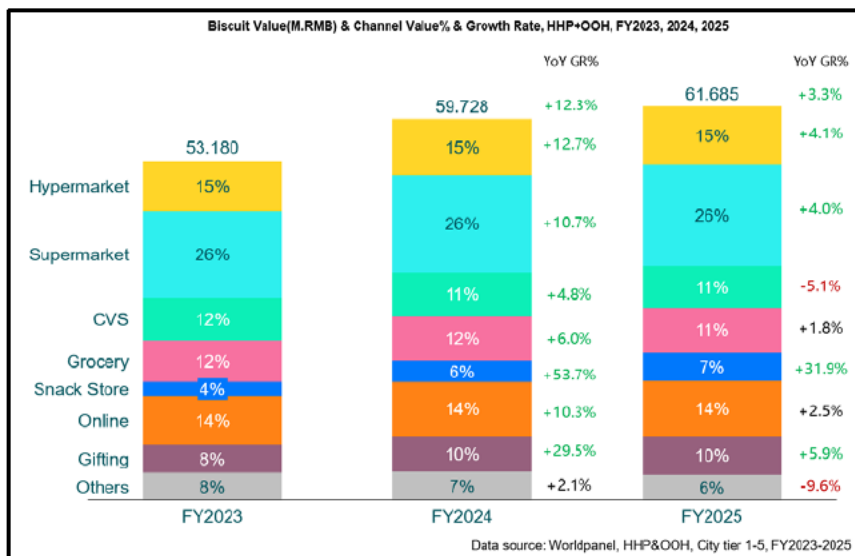
- 収益黒字化：～FY27：①④⑤
事業適正化：～FY30：②③⑤

海外事業（中国）の取り組み



中国市場のチャネル変化に対応したブランド浸透、地域展開について

- 中国のビスケット市場はチャネル変化を伴いながらも拡大基調で推移
- ポッキー・プジョイ等の主要ブランドを軸に、ビスコ・アーモンド効果等の展開を強化



外部環境

中国のビスケット市場は拡大基調で推移

- ・景況悪化で既存チャネルは縮小傾向
- ・スナック菓子に特化した菓子専門店（零食小店）が新興チャネルとして台頭
- ・内陸部の3・4級都市で店舗数が急伸、市場全体のチャネル構成が大きく変化

当社戦略

中国でのブランド浸透、地域展開を加速

- ⇒グローバルブランドの「ポッキー」、新興チャネルの菓子専門店（零食小店）含む各チャネルで伸長
- ⇒主要ブランドの「プジョイ」、菓子専門店（零食小店）で続伸
- ⇒健康価値を高めた「ビスコ」「アーモンド効果」等の展開を強化

※ 補足資料

事業セグメントの分類（売上高）



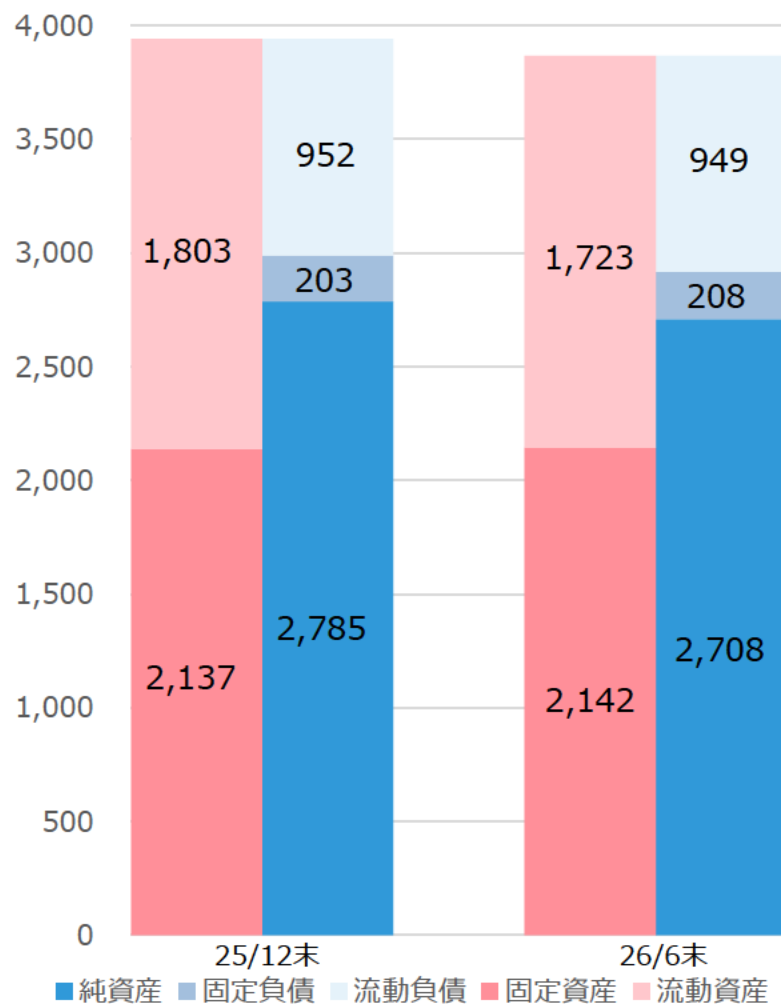
(単位：億円)

セグメント	分類	25年12月期				26年12月期					
		1月 - 3月	1月 - 6月	1月 - 9月	通期	1月 - 3月	1月 - 6月	通期 期初計画	通期 見込み	前年比	計画比
健康・食品 事業	健康	27	69	112	153	35	80	160	160	+4.6%	－
	アイスクリーム	26	78	165	196	25	75	220	200	+1.6%	▲9.1%
	その他	29	59	91	128	27	56	133	130	+1.0%	▲2.3%
	計	83	207	369	478	88	211	513	490	+2.4%	▲4.5%
乳業事業	発酵乳	18	41	65	88	23	44	110	97	+10.0%	▲11.8%
	アイスクリーム	58	139	244	313	57	148	320	320	+2.2%	－
	その他	60	125	192	263	61	128	263	263	▲0.2%	－
	計	138	306	502	664	142	321	693	680	+2.3%	▲1.9%
栄養菓子 事業	チョコレート	87	164	232	373	88	162	389	381	+1.9%	▲2.1%
	ビスケット	51	110	172	236	54	112	239	239	+1.2%	－
	その他	11	23	37	49	11	24	50	50	+0.9%	－
	計	150	298	442	659	154	299	678	670	+1.6%	▲1.2%
食品原料事業		28	63	99	131	28	62	133	135	+2.5%	+1.5%
国内その他事業		164	359	585	772	174	367	773	775	+0.4%	+0.3%
海外		208	408	648	907	264	540	1,010	1,150	+26.8%	+13.9%
合 計		773	1,644	2,647	3,613	852	1,803	3,800	3,900	+7.9%	+2.6%

貸借対照表の状況



(単位：億円)



資産の部 主要勘定科目		25年12月末	26年6月末	増減額
流動資産	現金及び預金	686	680	▲5
	受取手形及び売掛金	504	423	▲81
	有価証券	-	-	-
	棚卸資産	509	502	▲6
	流動資産合計	1,803	1,723	▲80
固定資産	有形固定資産	1,052	1,026	▲25
	無形固定資産	253	227	▲26
	投資有価証券	558	614	+56
	固定資産合計	2,137	2,142	+5

負債の部・純資産の部 主要勘定科目		25年12月末	26年6月末	増減額
流動負債	支払手形及び買掛金	442	344	▲98
	短期・長期(1年以内)借入金	0	171	+171
	転換社債型新株予約権付社債	-	-	-
	流動負債合計	952	949	▲3
固定負債	転換社債型新株予約権付社債	-	-	-
	長期借入金	1	1	▲0
	固定負債合計	203	208	+4
純資産	株主資本	2,296	2,180	▲115
	純資産合計	2,785	2,708	▲76

TTM為替レート



		米ドル USD	ユーロ EUR	タイバーツ THB	中国元 CNY	100韓国ウォン 100KRW	100インドネシアルピア 100IDR
<u>2023</u>	3/31	133.53	145.72	3.91	19.42	10.31	0.89
	6/30	144.99	157.60	4.07	19.94	11.00	0.97
	9/30	149.58	158.00	4.09	20.46	11.11	0.97
	12/31	141.83	157.12	4.13	19.93	11.05	0.92
<u>2024</u>	3/31	151.41	163.24	4.16	20.83	11.25	0.96
	6/30	161.07	172.33	4.36	22.04	11.64	0.99
	9/30	142.73	159.43	4.41	20.46	10.94	0.95
	12/31	158.18	164.92	4.64	21.67	10.76	0.98
<u>2025</u>	3/31	149.52	162.08	4.40	20.59	10.17	0.91
	6/30	144.81	169.66	4.44	20.19	10.67	0.90
	9/30	148.88	174.47	4.62	20.88	10.63	0.90
	12/31	156.56	184.33	4.97	22.36	10.94	0.94
<u>2026</u>	3/31	159.88	183.41	4.86	23.11	10.48	0.94
	6/30	162.39	185.35	4.88	23.87	10.48	0.91

【注意事項】

- * この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、取り組みなどは、現時点において入手可能な情報の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- * そのような要因の例としては、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。
- * なお、当資料に記載する金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

「お問合せ先」

江崎グリコ株式会社 株式・IR部

E-mail : ir-division@glico.com